

目薬について

～ 身近によくある質問 点眼のポイント～

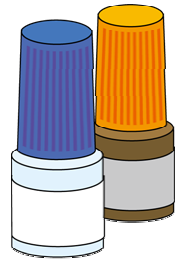


ツルガ薬局
田邊 宗久

「目薬は開封してからでも、表示されている使用期限まで使用できるのでしょうか？」

よく店頭で聞かれる質問です。目安としては、開封後1ヶ月以内で使いきって頂く方がよろしいと言われています。商品によっては3ヶ月くらい大丈夫と言われる場合もありますが、これは空気中の雑菌などが入り込む恐れがあるからです。ですので、この期間内であっても変色や混濁、浮遊物があるものは使用しないようにしましょう。

一般的に栄養的な目薬なら毎日使用しますが、抗菌や充血、かゆみなどの一時的な症状に対しての目薬は1本使いきることは難しいのかもしれない。ぜひ開封したら、直射日光の当たらない涼しいところで、キャップを締めて気密性を保って保存するようにして下さい。



少しでも長く使えるように、点眼する時は容器の先端が、指先やまぶた、まつ毛に触れないように注意して下さい。また、手指から目薬への汚染が意外に多いことから、目薬を使う前によく手を洗うことも大切です。



目薬の成分は、眼球を潤しながら目頭に集まり鼻へ降ります。ですので点眼後は、静かにまぶたを閉じ、1～2分間リラックスして目頭を押さえるようにすると効果的になります。点眼後に何回も瞬きをしたり、目を閉じてまぶたの上をマッサージしてしまうと、成分が目から早く排出されてしまい逆効果になりますので気をつけて下さい。

通常、目薬は基本的に1滴入れれば効果が期待できますが、一度できちんと入らない場合があることから「1回に2,3滴」と表示してあるケースが多いようです。一度に多く差したからよく効く、というものでは無いので、しっかり用法用量を守るようにして下さい。

また病院等で2種類以上の目薬が処方され連続して使用する場合には、5分間以上間隔を空けるようにして下さい。これは、それぞれの目薬の効果をきちんと発揮させるために必要なことです。

成分によって、点眼後のツバは飲み込まずにうがいをした方が良いとする医者もいます。これは、目薬を差して口の中が苦くなる方がいるように、目と鼻と喉がつながっていて、目に差した成分が喉まで降りて飲み込んで全身作用が現れる可能性を考慮してのことです。

TVやパソコン、携帯電話等、目にかかる負担も大きくなり、白内障や黄斑変性症、飛蚊症などの目の様々な病気も増えている中で、目薬に限らず何か分からないことがございましたら、お気軽にツルガ薬局までご相談下さい。

